

岡原子力委員会委員長の海外出張報告

平成27年6月16日

1. 出張先

アメリカ（サンフランシスコ）

2. 出張期間

平成27年6月7日（日）～10日（水）

3. 渡航目的

6月8日（月）に、「環太平洋フォーラム」にて講演し、ローレンス・リバモア国立研究所を訪問し、意見交換を行う。

4. 主要日程

6月 7日（日） 東京発、サンフランシスコ着
6月 8日（月） 環太平洋フォーラムにて講演
（於 カリフォルニア大学バークレー校）
ローレンス・リバモア国立研究所訪問
6月 9日（火） サンフランシスコ発
6月10日（水） 東京着

5. 結果概要

（1）環太平洋フォーラム

UCバークレーがシリーズで開催している環太平洋フォーラムが、本年は「原子力施設の地震レジリエンス」とのテーマで開催され、学識経験者等の講演、パネル討議等が行われた。

その基調講演として「Perspectives on the Safety of Nuclear Facilities」という題名で、原子力安全の考え方と東電福島事故の教訓について講演した。米国の基調講演者は元 NRC コミッショナーのアポストラキス教授であった。

フォーラムでは地震関係を中心に米国、日本の専門家が講演と

討論を行った。

(2) ローレンス・リバモア研究所

慣性核融合の大型研究施設である国立点火施設（NIF）を見学し、専門家と意見交換を行った。慣性核融合は宇宙科学と密接に関係する高密度物理学研究の最先端でもあり、日本や欧州の研究者や学生との交流も進めたいとの事であった。

日本のエネルギー政策、東電福島事故の教訓について説明した。

(以上)